



今年2月、東久留米市民プラザロビーコンサートで連弾する塚田さんと横内さん



響きあい、影響しあう塚田さん(左)と横内さん

## ●●Interview●●

5月4日、練馬公民館ホールで開催された「新星78」の定期演奏会のトップに登場した塚田哲夫さん(51)はブラームス作曲、スケルツォ作品4を演奏。視覚障害を持つ塚田さんのピアノを初めて聴き、驚きと感動でいっぱいになった。新星78は視覚障害を持つクラシック音楽演奏家の団体で、この日の出演は他にソプラノ、ヴァイオリン、フルート、ピアノ連弾の演奏者。その豊かな表現力と技量に、ただただ「凄い」感嘆の連続だった。

を音と触感とで覚えていった。以来ピアノから遠ざかったことはなく「イヤになることも、暗譜するのが退屈になることもありましたが、曲がりなりにも今日まで続けてきました」と語る。1974年には全日本盲学生音楽コンクールで第1位入賞。音楽大学へ進みたかったものの、当時としてはまず、手に職をつけるのが先だったので、都立文京盲学校専攻科理療科へ。卒業後は18年近く特別養護老人ホームでマッサージの仕事に就いていた。この間もピアノへの情熱は変わらず、81年に設立して3年目の「新星78」に入会。共に音楽を語れる人を求めていた塚田さんにとって、音楽情報も増え、ホールで演奏する機会も得られるようになった。教会でのリサイタル開催や交響楽団との共演など、活躍の場が広がっていった。

塚田さんの目は生まれつき見えない。聴力も小学3年の終わり頃から悪くなりはじめ、18歳から左耳に補聴器を着けている。今は補聴器を外すと全く音が聞こえないため、寝る時以外は離せない。音声による会話が周囲の条件などで難しい場合は通訳者を頼み、指文字で会話を伝えてもらい、口頭で答えるというコミュニケーション手段をとっている。

「夕方の空気感、風や雨の音、雷などに接すると、メロディがわいてきます」と言う塚田さんは作曲も手がけ、バッハの音楽理論にも定評がある。ハンディを、とてつもない感受性と想像力に変える方なのではないだろうか。

## 全盲のピアニスト 塚田哲夫さん

毎日最低でも3、4時間はピアノに向かう。それにしても演奏の根源となるのは点字楽譜の存在。これを暗譜しないことには演奏ができない。今年の1月下旬から4月中旬までかけて、バッハの曲、27ページの点字楽譜を暗譜した。



通訳の梶さん(右)が指点字でこのようにして、伝えます。

### 横内真弓さんとの出会い

同席した横内さんとは9年前、「ギロックフレンドズ」という演奏者の同好会で知り合った。

「横内さんのドビュッシーを聴くとワクワクしてくるんですよ。この人と一緒に弾いてみたいとその時思いました」

「塚田さんが奏でる音は美しく、感動的。その精神力も素晴らしい。誰も真似できない塚田ワールドです」と横内さん。

ドイツのバッハやベートーベンを得意とする塚田さんとフランス近代・現代音楽、リズムとスピードを得意とする横内さん。お互いが違うタイプに惹かれ、響きあい、連弾による演奏活動を続けている。今年2月にも東久留

米市民プラザロビーコンサートで共演した。

そしてこの7月25日には東久留米成美教育文化会館で新星78定期コンサートとして、塚田さん、横内さんにソプラノの塩谷靖子さんを加え、サマーコンサートが開かれる。ジャンルにこだわらず、夏をテーマにした曲を楽しんでもらう予定。

### 指点字通訳者が増えてほしい

塚田さんの左横に座り、両手の指を塚田さんの指の上のせ、通訳の梶さんがこちらの質問にすばやく人差し指、中指、薬指を動かす。塚田さんは自身の指でそれを読み取り、音声で答える。梶さんは会話だけでなく、周囲の状況も知らせる。

指点字は目も耳も不自由な人とのコミュニケーションのために、読み手の左右3本の指を点字タイプライターの6つのキーに見立てて点字をつつもの。専門の通訳者は少なく、全国盲ろう者協会に登録していても他に仕事をもっている人が多いので、圧倒的に不足しているのが現状だ。塚田さんによると、若い人で耳は健聴だけれど、全盲の人

## 心に刻んだ旋律が感動と勇気を与える

が指点字通訳者として、ボランティアをしている例もあるとか。

「コミュニケーション手段を身に付ける事で便利に生活できます。しかし、いくら盲ろう者がそう願ったとしても、周りに伝達手段を知っている人がいなければどうにもなりません。地域の方々が指点字のようなコミュニケーション方法がある事を知ってください、実際に覚えてみようという方が出て来てほしい」塚田さんの最たる願いである。

「バッハの曲を弾くと季節を感じる。素晴らしいハーモニーや旋律に出合った時、ピアノをやっている本当に良かったと思います」

これからチャレンジしたいのは難曲、リストのピアノソナタ。今、楽譜の点字訳を頼んでいる。7月のコンサートをぜひ多くの方々に聴きに行ってもらいたい。きっと素晴らしい感動と勇気をもたらえられるだろう。(東久留米市在住)

### サマーコンサート

～音楽でつづる夏の思い出～  
7月25日(土)2時30分開演  
東久留米市成美教育文化会館  
(料)1,000円(中学生以下無料)  
当日受付にて販売  
(問)新星78事務局  
Tel/Fax03(3994)4555  
http://www.shinsei78.com  
全国盲ろう者協会ホームページ  
http://www.jdba.or.jp/